

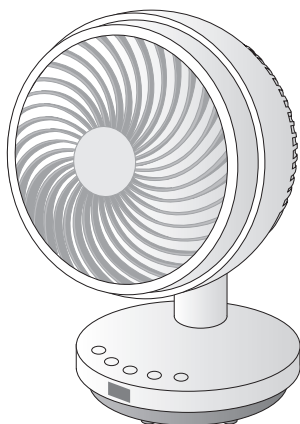


サーキュレーター AYR-VK18

取扱説明書

保証書付

もくじ



最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

- 安全上のご注意 …… ①～②
- 各部の名称 …… ③
- 準備 …… ④
- 使いかた …… ⑤～⑥
- お手入れ …… ⑦～⑧
- 故障かな?と思ったら …… ⑨
- 仕様 …… ⑨
- 長期使用製品についてのご注意 …… ⑩
- アフターサービスについて …… ⑩
- 保証書 …… 裏表紙

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社サーキュレーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害や物的損害に結びつく可能性のあるもの

図記号の説明



禁止

禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない

感電の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



禁止

交流100V以外の電源は、使用しない

感電・発火の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



プラグを抜く

使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

長期間差し込んだままにしますと、ホコリなどが堆積することによって漏電・火災の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電・ショート・発火の原因になります。

警告



プラグを
抜く

異常時（こげ臭いがするなど）は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜く

発熱などで火災・感電の原因になります。お買上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



禁止

風をストーブなど燃焼器具に向けて使わない

不完全燃焼や炎の飛散により、故障や火災の原因になります。



禁止

すき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。

注意



禁止

風を長時間、身体にあてない
健康を害することがあります。



禁止

ガードにものをかけたり、ふさいだりして運転しない
故障・過熱の原因になります。



禁止

次の場所で使用しない
故障・感電・火災の原因になります。

- 湿気の多い場所や火気の近く
- 厨房や工場など油膜が発生するところ
- 直射日光の当たるところ
- ホコリや金属粉の多いところ
- 高温（40℃以上）になるところ
- 障害物の周囲や不安定なところ
- 灯油、ガソリン、塗料など引火性の物があるところ



プラグを
持つ

電源プラグを抜くときは、プラグを持って引き抜く

感電・故障・発火の原因となります。



禁止

ガードをつけずに運転しない
けがの原因になります。



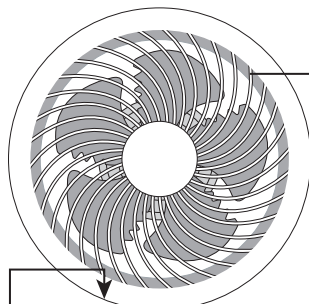
製品を移動するときは、次のことに注意する

破損やけがの原因になります。

- 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源コードを持ち、取っ手をしっかりと持って滑らないようにする

各部の名称

正面



取っ手

前面ガード

- ふさがないでください。
- 外して運転しないでください。

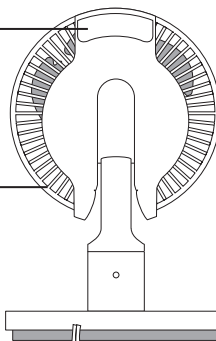
背面ガード

- ふさがないでください。
- 外して運転しないでください。

スタンド

受信部

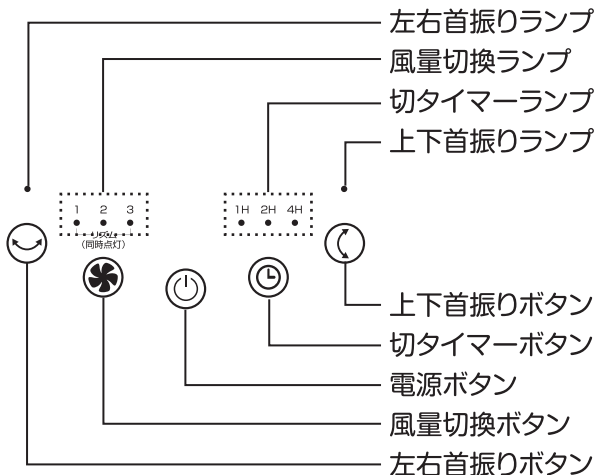
背面



電源コード

電源プラグ

操作部



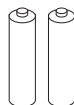
リモコン

電池を入れてからご使用ください。

送信部



単4電池



—— 知っておいてください ——

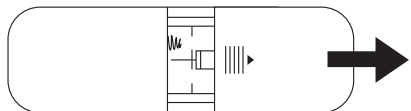
サーキュレーターは、空気をかきまぜるため、風の直進性を高める構造になっています。そのため通常の扇風機に比べて風音が若干大きくなります。

準備

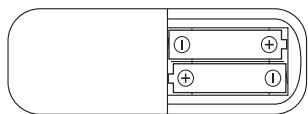
リモコンの準備

■電池の入れかた

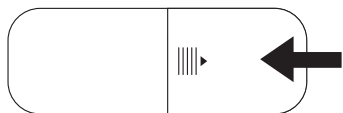
交換用電池について
電池が消耗しましたら、市販の単4電池をお買い求めください。



①フタを押さえながら矢印の方向にスライドさせて、取り外します。



②乾電池を図のように入れます。



③元通りフタをします。



- 動作しにくくなったときは、新しい乾電池と取り替えてください。
- 種類の違う電池や新・旧を混ぜて使用しないでください。

■次のようなところでは、リモコン操作ができないことがあります。

- ・本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- ・インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。
- ・本体受信部に直射日光などの強い光があたる場所。

お願い

- 電池が消耗すると、リモコン操作ができる範囲が狭くなります。その際は電池を交換してください。
- リモコン送信部に傷をつけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。
- 乳幼児の手の届くところにリモコンを置かないでください。電池の誤飲を招くおそれがあります。

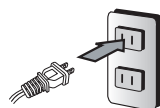
使いかた

本体操作部分での操作を説明しています。
リモコンでも同様の操作ができます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

奥までしっかり差し込んでください。

※全てのランプが数秒間点灯します。



2 運転する



風量1の場合

電源ボタンを押すとブザーが鳴り、風量切換ランプが点灯して送風を始めます。再度押すと停止します。

※初期状態では風量1で送風を始めます。

3 風量を調節する



風量1の場合

風量ボタンを押すたびに風の強さが3段階にかわり、風量切換ランプが点灯します。

風量切換ランプが全点灯時はリズム運転になります。

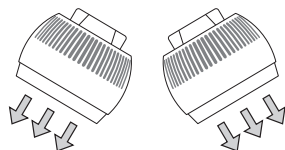
※リズム運転→風量をランダムに変化させ、自然な風を送り出します。

→ 1 → 2 → 3 → リズム運転
(全点灯)

4 左右に首振りする



左右首振りボタンを押すと、左右(約90°)に首振り動作し左右首振りランプが点灯します。再度押すと停止します。



使いかた

本体操作部分での操作を説明しています。
リモコンでも同様の操作ができます。

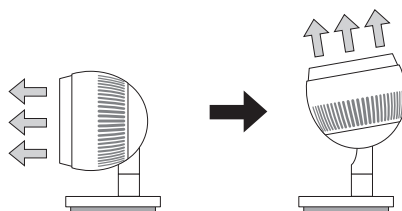
5 上下に首振りする



上下首振りボタンを押すと、上下(約80°)に首振り動作し
上下首振りランプが点灯します。

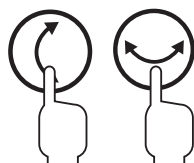
再度押すと、その位置で首振り動作を停止します。

※電源ボタンを押すと、正面の位置に戻った後、運転停止します。



正面から真上まで
約80°の範囲で
調整できます。

6 上下左右に首振りする



上下首振りボタンと左右首振りボタンを押すと、
上下左右広範囲に風を送ります。

7 タイマー運転をする

設定時間:1・2・4時間



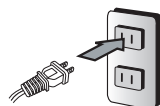
1時間の場合

切タイマーボタンを押すたびに切タイマー設定時間が
かわります。

切タイマーランプが点灯します。

→ 1H → 2H → 4H → 設定解除
(時間) (連続運転)

8 使い終わったら電源ボタンで運転を止め、 電源プラグをコンセントから抜く



お手入れ

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

<スタンド>

柔らかい布でからぶきしてください。
汚れが落ちにくいときは中性洗剤を
浸して固く絞った布で汚れを落とし、
最後にからぶきしてください。

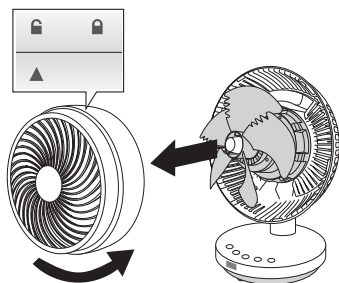


- シンナー・アルコール・ベンジンなどを使用しないでください。
変質・変色・劣化などの原因になります。
- 化学ぞうきんを使うときはその注意書きに従ってください。
- スプレー(殺虫剤・芳香剤など)をかけないでください。
変質・変色・劣化などの原因になります。

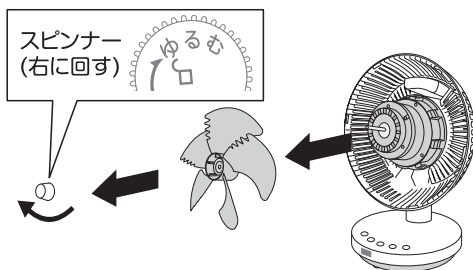
<前面ガード・背面ガード・羽根>

- 汚れがひどいときは、前面ガード・背面ガード・羽根を取り外してお手入れすることができます
(水洗い可能)。
- お手入れ後は前面ガード・背面ガード・羽根を取り付けてください。

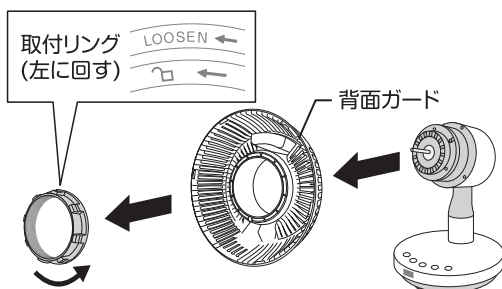
〔外しかた〕



- ①前面ガードの天面にある▲を
🔒に合わせて前面ガードを外す



- ②スピナーを回し、羽根を外す



- ③取付リングを回し、背面ガードを手前の方向に引っ張って外す
※本体のネジは外さないでください。

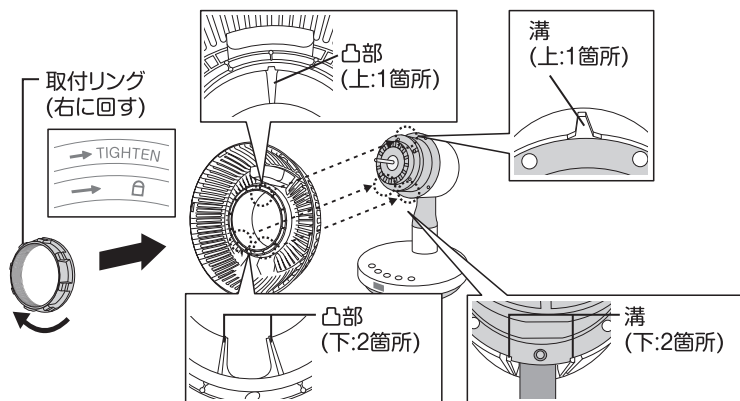


ガードを外して運転しないでください。
けがの原因になります。

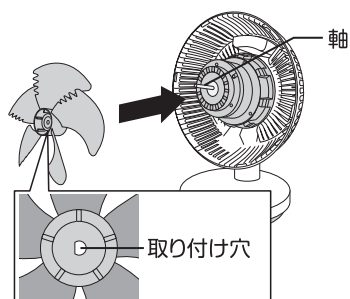
お手入れ

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

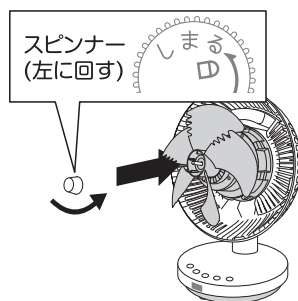
〔取り付けかた〕



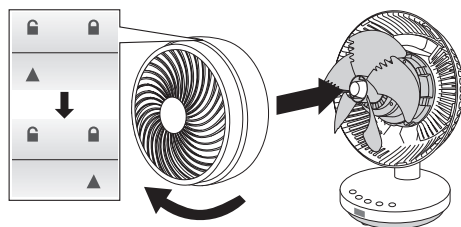
- ①背面ガードの凸部と本体の溝の上下を合わせて、背面ガードをしっかりと押し込み、取付リングを回して背面ガードを固定する



- ②羽根の取り付け穴(上図)の向きに注意しながら、軸と取り付け穴を合わせて羽根を取り付ける
※羽根は取り付け穴が○真丸の方が奥側になります。



- ③スピナーを回し、羽根を固定する



- ④前面ガードの▲を🔒に合わせてはめ込み、▲を🔒に合わせる

<収納>

ポリ袋を本体に被せて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

故障かな?と思ったら

下記の表でチェックしてください。直らないときは販売店へ修理をご依頼ください。

こんなとき

処 置

運転しない

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいますか。
→コンセントにしっかりと差し込んでください。

リモコンで操作
できない

- 電池が消耗していませんか。
→電池を入れかえてください。
- 送信部を本体に向けていますか。また障害物などありませんか。
→操作は障害物がないところで約3mの距離、角度は左右約60°の範囲で可能です。

風音が大きい

- ガードにホコリやチリなどがつもっていませんか。
→ホコリやチリなどを取り除いてください。(P7参照)

電源コード、電源プラグに下記のロ、およびハの症状があるとき、またはイの場合で汚れなどが取り除けない場合には、感電や火災の原因になりますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

イ.電源プラグが汚れていたり、さびていたり、ホコリが付着していませんか。

→汚れ、さび、ホコリなどを取り除く。

ロ.電源コードに傷がありませんか。

ハ.運転中、電源コードを動かすと電源が切れることがありますか。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	26/28W
本 体 寸 法	幅240x 奥行230x 高さ360mm
本 体 質 量	約2.5kg
コ ー ド 長	1.6m

長期使用製品についてのご注意

長年ご使用の扇風機は、熱、湿気、ホコリなどの影響などにより、内部部品が劣化し、発煙・発火のおそれがあります。ご使用中につきのような症状がみられる場合は、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または本書記載の「山善お客様ご相談窓口」にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音や振動がする（摩擦音・接触音・打音等がしたり羽根がブレて振動しているなどの状況）。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

異常があればご使用中止!!

すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または本書に記載の「山善お客様ご相談窓口」にご相談ください。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は下記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

環境条件	電 圧	AC100V
	周 波 数	50/60Hz
	温 度	30℃
	湿 度	65%
	設 置	本書に基づく組立及び設置
負荷条件	本製品の最大定格での運転	
想定時間	運 転 時 間	8 h/日
	運 転 回 数	5回/日
	運 転 日 数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「山善お客様ご相談窓口」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載いたしております。

アフターサービスについて

- ①この製品には保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご購入されたらご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

お客様ご相談窓口

TEL 0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合は正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、商品名・品番をご連絡ください。